

NHK邦楽技能者育成会同窓会 会報第5号

## ■演奏会報告

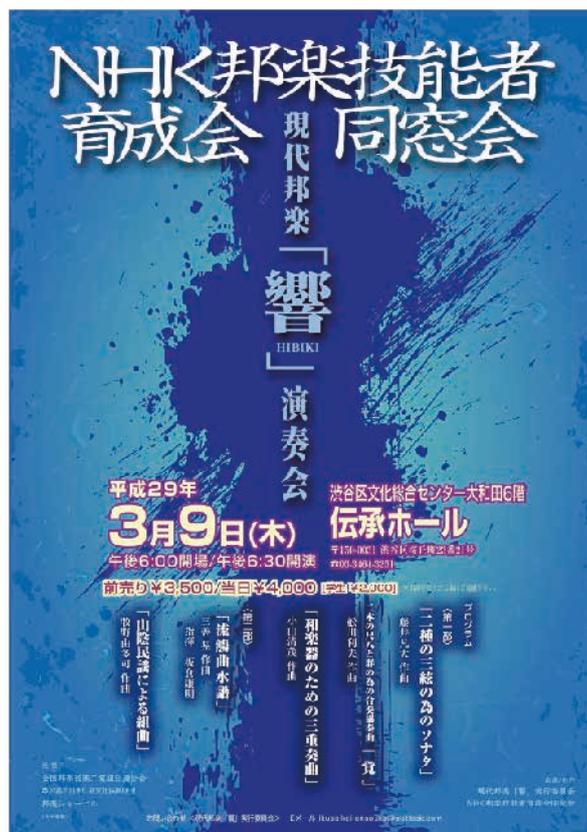
去る平成29年3月9日NHK邦楽技能者育成会同窓会公演、「現代邦楽 響」が渋谷区総合文化センター大和田伝承ホールにて開催されました。

開催にあたり、長年の懸案でありました講習会を実施。「二種の三絃の為のソナタ（藤井凡大作曲）」、「和楽器のための三重奏曲（小山清茂作曲）」の二曲について、後藤すみ子氏（2期卒）にご指導いただきました。

講習会へは延べ31人、演奏会へは58人の会員にご参加いただき、従来より小規模なホール（345席）での開催でしたが入場者数244名と約7割の客席を埋め、盛況裡に終えることができました。

また、当日の演奏はNHK-FM「邦楽百番」においても二日間にわたり放送されました。

改めてご出演いただきました会員、ご協力くださいました全ての方々に厚く御礼申し上げます。



※演奏会集合写真（平成29年3月9日）



※講習会の様子（平成28年11月20日）

## ■ 役員・評議員体制について

平成29年度同窓会は、任期二年目につき引き続き以下の役員により運営されます。※（ ）内は卒業期

### 【理 事】

後藤すみ子(2/副理事長)・杵屋静子(5/理事長)・山戸朋盟(14)

三橋貴風(17/副理事長)・釣谷真弓(27)・富緒清律(33)・福田栄香(33)・石川利光(37)

設楽瞬山(38)・原郷界山(44)・小林千恵子(46)・今英里(50)・松本宏平(53)

福本礼美(54)・井上美和(55)

### 【特別会員理事】

秋岸寛久・板倉康明・菅野由弘・高橋明邦・羽田野歌子（50音順）

### 【監 事】

古屋輝夫(16)・森田柁山(19)

### 【評議員】

杵屋勝真代(6)・五味静子(7)・小林富美代(8)・久保暉子(9)・渡辺玻璃美(11)

伊藤厚勢(12)・田辺園由香(13)・富成清女(15)・本荘洋子(16)・春原香代子(17)

大澤善子(18)・石垣清美(21)・曾我哲山(25)・石川憲弘(26)・田辺頌山(27/評議員長)

高橋はるな(28)・横山裕子(29)・山田明美(30)・鈴木佑未子(31)・山口連山(32)

合田真貴子(34)・大田由美子(35)・中川裕美(37)・岡本千邦子(38)・山口賢治(39)

金田智子(40)・黒川真理(42)・高橋裕恵(43)・清水一恵(44)・川俣夜山(45)

中畝詩歩(48)・斎藤彩子(49)・熊本文(50)・岩本みち子(51)・佐々井麻矢(52)

西山麻弥子(53)・馬場千年(54)・寺井結子(55)

評議員は、各期のご意見を集約して理事会へ反映させるため各期に1名ずつが望ましいと考えております。評議員不在の期がありますので、どうか有志の方のご参加をお願い致します。事務局までご連絡ください。

## ■ 事業報告 - 臨時総会（平成28年11月29日）

去る平成28年11月19日に臨時総会が行われました。以下に議事録を掲載いたします。

平成28年11月29日（火）14時～  
於 TKP八重洲カンファレンスセンター

### ◎開会

#### ◎定足数報告

定足数の確認

会員数799名・出席者数31名・委任状446名分

総数の過半数の出席により成立を確認

#### ◎理事長挨拶（杵屋静子5期 以下敬称略）

#### ◎副理事長挨拶（三橋貴風16期）

臨時総会開催の経緯について

育成会55期演奏会の後、準備会議、理事会を経て、現代邦楽「考」を4回開催することが出来た。

しかし、新人が入ることが無いので会員の高齢化や減少が免れない。

また、活動も年1回の演奏会に限られ、前回の会の後、次回演奏会をしようという機運があまりなかった。

もう一度、最初に立ち戻って今後の会のあり方を考えて行きたい。

関連して、羽多野歌子理事より

これまで続けているNHKの放送枠と予算は、一度切れると復活することは難しいので、今年度も演奏会を開いてはどうか。

↓

研修チームの講習会担当係が中心となり会場を確保、現代邦楽「響」を開くことに。（今年度はNHK放送料が無くても成り立つ予算で計画）

#### ◎議長選出 山口賢治（39期）

### ◎議事

#### 1) 会計より（原郷界山44期）

\*平成28年度予算未承認→拍手をもって承認

#### 2) 新運営体制について

・提案の要旨について（松本宏平53期）

理事会は演奏会の開催で手一杯→同窓会以外の（演奏会以外）活動への希望に理事会が全て対処するのは難しい→新しい運営体制へ

正式な承認は臨時総会で行うが、その前にテストランとして行っていることもあり。

\*総務チーム（原郷）

・会費未納者への対応

未納者も、総会議決権・発送費・選挙の議決権は納入者と同様。

↓

会報発送の折、未納者に通告。

↓

まとめて払う人多数あり。

↓

強制退会への時期の長さの見直しが必要。

・演奏活動への助成

活発な演奏活動を行う会員を応援する。

助成についての質疑・意見

秦飄山（22期）

Q.地方支部へ助成をしてはどうか？（独立採算制になっているので）

A.地方での開催も助成希望はOK。（基本は個人対象）地方支部開催の演奏会は基本は独立採算だが、どうしても赤字になる場合は補填。

大田由美子（35期）

Q.助成を希望した場合、審査するのは？

A.総務の5人で審査する。

早川智子（39期）

Q.会員が4/5をしめる演奏会に助成とあるが、3月15日の京都の会は助成対象に成りうるのか？

A.今年度の事業のため、対象外。

なお、この会への出演は京都三曲協会福森会員からの提案。

#### ★助成に関して

・助成は個人として申請する。

・同窓会主催の演奏会は、これまでも助成はしなかったし、これからもする予定はない。

・東京は放送料のお陰で成り立っていたので、その分地方支部への補助をという意見→放送料は演奏会に対するもので、同窓会に対してではない。京都の場合はNHK大阪の放送を図ったが結果的に枠を取れなかっただけで、放送料が得られるのは東京のみのことではない。

・京都公演に東京から行った人は手弁当で参加。それは東京公演に地方から来る人もそうしているから。助成をあまり当てにするのはどうか？

・親睦事業について（今英里50期）

11月4日（金）実施7名参加

演奏会には参加したことの無い会員の参加もあり、いろいろな世代が交流出来た。半年に1回位実施したい。大人の社会見学なども考えたい。

質疑・意見

大田由美子（35期）

Q:総務の窓口はどこ？（これまでは古屋さん）

電話・名簿は誰が管理？

評議員会の招集は？

A:事務局は古屋さん。電話（携帯）は今さん（あるいは他の理事）

対応はそれぞれの担当者に今理事から回す。

名簿管理→総務

評議員会の招集→理事長が招集。総務は事務的な仕事を担当。

\*研修チーム 福本礼美（54期）（後藤理事2期代理）

流派を越えて勉強するという原点に戻って行っていきたい。

・今年度の施行

1. 2曲の講習会の実施（講師後藤すみ子2期）

2016年10月10日及び11月20日

二種の三絃のためのソナタ【作曲：藤井凡大】

和楽器のための三重奏曲【作曲：小山清茂】

27名参加参加費2回で5,000円（楽器代含む）

講師への謝礼は交通費程度だったが好評であった。

2. 現代邦楽「響」演奏会の実施

2017年3月9日（木）18時30分開演於渋谷区文化総合センター大和田伝承ホール

# ■事業報告 - 通常総会(平成29年5月30日)

去る平成29年5月30日に通常総会が行われました。以下に議事録を掲載いたします。

全て敬称略、名前の後の( )内は卒業期。  
平成29年5月30日 13時~17時  
於 渋谷区勤労福祉会館 二階 第一洋室

## 1 開会の辞 設楽瞬山 (38)

定足数の確認

会員数723名・出席者数34名・委任状351名分  
総数の過半数の出席により成立を確認

## 2 理事長挨拶 杵屋静子 (5)

## 3 特別会員の紹介

秋岸寛久・高橋明邦・板倉康明・藤本草

## 4 議長選出

- ・立候補により山口賢治 (39) を議長に選出
- ・議長より書記を指名竹井誠 (27) ・川俣夜山 (45)

## 5 議案審議

### ◆平成28年度事業報告

#### ①総務チーム 山戸朋盟 (14)

◇資料：総務チーム平成29年度活動報告・活動予定参照

- ・助成金の制度と規則を作った事の報告
- ・29年度の助成についての報告

#### ②合奏団チーム 三橋貴風 (17)

2016/7/19、2017/4/13に会合を持った。

#### ③研修チーム福本礼美54

◇2016年度事業報告研修チーム参照

・「響」の開催。初めての独立採算の会。利益が出て同窓会へ入金

- ・いろんな反省・感想が寄せられた→次回へ活かしたい。
- ・講習会の収入の計算が合わないことが指摘され、訂正した。
- ・「響」の会費が10,000円から20,000円になった経緯→NHKの放送収録が無い前提だったためだが、実際には収録が行われ、放送料が利益となった。

#### ④地方チーム 松本宏平 (53)

・京都三曲協会と芸術会館主催の演奏会に関西支部の5人が参加 (2017/3/15)

### ◆平成28年度収支決算報告並びに監査報告

#### ①収支決算報告 原郷界山 (44)

◇H28年度育成会同窓会収支決算報告書参照

◇現代邦楽「響」2017/3/9参照

◇日本音楽の光彩Ⅱ経費報告参照総会時は未提出

- ・会費未納の方がいる4年間未納の方99人
- ・昨年は総会と臨時総会と2度開催←会場費
- ・プリペイド携帯だったものを普通の携帯に契約
- ・日本音楽の光彩Ⅱについての質問もあった。→資料参照

#### ②監査報告 古屋輝夫 (16)

適正かつ正確であると報告

### ◆平成28年度事業計画

#### ①総務チーム 山戸朋盟 (14)

・大人の遠足パート2の実施15名程度

2016/11/4にパート1を実施十数名だが楽しかったとの意見を頂いた。

#### ②合奏団チーム 三橋貴風 (17)

◇合奏団チーム事業予定参照

- ・育成会同窓会の理念が結実するものとして計画
- ・外部から見てベテランも若手も入っているのが面白いと言える
- ・最初の公演にインパクトを持たせたい→芸術祭参加
- 書類審査→育成会ならではの内容(重要)
- ・「考」の一員としての経歴が残せるという事の利点
- 実績、演奏内容などが評価される
- ・課題・当事者だけで独立採算を維持できるか
- ・新規の会員がいないという中、高齢化が進む中今がチャンス。

質疑・応答・提案・意見

・高橋明邦 (特) : 既存の団体と差別化できるか例えば日本音楽集団などは育成会出身者を中心としたプロの団体と言えるのでは

・三橋貴風 (17) : 同窓会発足の時に会員同士の親睦とプロ化の二つの理念が承認されているはず

・福田栄香 (33) : 合奏団を発足しようという事は了解済みだが、「考」という名称に違和感がある。演奏会としての名称でなかったか。

・高橋明邦 (特) : 演奏会の名称がどういふきさつで「考」から「響」に変更したのか

・三橋貴風 (17) : 「考」の内容と「響」の内容を分けている。存在意義を分かりやすくする為の名前をつけた

・高橋明邦 (特) : 「考」という名称のコンサートは無くなるのか

・三橋貴風 (17) : 「考」という団体はオーディションも有り特別。

・高橋明邦 (特) : 「考」が特殊過ぎないか

・議長 : 演奏会の「考」と合奏団の「考」を混同している。

・福田栄香 (33) : 「考」は合奏団で「響」は今までのコンサート

・板倉康明 (特) : 育成会というのは五線譜を使つての新しい音楽の勉強の場。55年続いたものを集約しているのではないか。機が熟したのではないか。

・議長 : 合奏団の名称についてはまだ議論の余地がある。

・三橋貴風 (17) : 何年も前から合奏団の話は出ていた。やっと実現へ親睦とプロ化の両輪があるという確認。二つに割りたい訳では無い。ランニングコストがかかるので団員も覚悟が必要。オーディションがあるが、団員の覚悟を見るための物でもある。

・高橋明邦 (特) : 合奏団が多くなるのは良い事だが、アマチュアも増えている。プロであるレベルを維持するのが大切。考も響も続けていってほしい。

・秋岸寛久 (特) : 合奏団の最高の品質を保つのは良いとして、オーディションで会員を選抜するというのは、違和感がある。育成会が母体であるのにオーディションで落ちるのはどうなのか。

・板倉康明 (特) : オーディションを受ける意思があれば、当然合否がある事を覚悟する。同窓会は平等であると言っても、例えば席順などは自然に生じるもの。合奏団の名称はもう少し考える必要がある。

・福田栄香 (33) : オーディションを毎年にしてはどうか

・秋岸寛久 (特) : 曲に対するオーディションは良い。合奏団としてのオーディションに疑問。

・今英里 (50) : 曲と団員両方のオーディションを重ねれば

・秋岸寛久 (特) : やはり問題が。

・三橋貴風 (17) : 流派にまたがって会員がいる事。いろんな音楽が表現できること。NHKで50年培ってきたことを表現していく。合奏団に対する意思表示としてのオーディションである。合奏団を作って新しい人が応募してくれるような活動を。

・秋岸寛久 (特) : 連判状が良いのでは

・板倉康明 (特) : それは反対

・藤本草 (特) : 永廣さんがおっしゃっていたが、育成会を母体に幾多の作品がある。アマチュアの団体が盛んに演奏をしているがレベルは疑問。合奏団というのは良いと思う。日の当たらなかつた邦楽作品を取り上げて欲しい。芸術祭レコード部門の参加、楽譜の公刊等、需要が無くてやる。当財団は25年前の作品を廃盤にしていけない事がある。邦楽器が若者に浸透して行く事に効果がある。それが育成会ならば出来るのではないか。

- ・三橋貴風（17）：若者が'60年代の現代邦楽を研究している。希望が持てる。実働メンバーとしての役割を担う。過去を振り返って未来を拓く。オーディションは連判状的側面と音楽的側面、両方を持つ。
- ・森田柊山（19）：前回同窓会演奏会を休もうとしたが、NHKの枠の都合で、講習会の発表の場として「響」を開いた。次回の「響」は「考」の流れか別の流れか考える必要があるのでは。
- ・松本宏平（53）：来年2018年は、3月の演奏会と、秋の合奏団公演の2回になるかもしれない。
- ・三橋貴風（17）：母体は一つ。自主公演を何回打つかなどが大切。考と響とで年2回、ローテーションで出来ないか。
- ・議長：メリット、デメリットはあるがメリットの方が多いいのではなにか。将来に向けて活動してゆく。
- ・三橋貴風（17）：合奏団の初コンサートは是非芸術祭参加で。現代邦楽の歴史のアーカイブ、メンバーのバリエーションの豊かさは武器になる。

### ③研修チーム 福本礼美（54）

#### ◇2017年度事業計画

- ・講習会の計画  
前回は講師謝礼0だったが今年は計上。講師を増員。同窓会に活動資金の助成申請。
- ・演奏会の計画  
ワンコインコンサートで学生の動員を図る。NHKの収録も見込んで前日も借りてある。アーツカウンシルの助成金の申請をする  
上記2つで同窓会への申請が解消するかもしれない。

#### 質疑・応答・提案・意見

- ・五味静子（7）：板倉先生の練習を増やしてほしい。
  - ・福本礼美（14）：自主的にやって頂く。
  - ・高橋明邦（特）：「風と光と空と」は大変です。
  - ・福本礼美（14）：きちんと考えています。
- 助成金申請の為メンバーは早く確定したい。そのため練習は早くから行う。
- ・大澤善子（17）：楽譜がどこで入手できるか情報をお願いしたい。
  - ・議長：YouTubeでの限定公開などを検討している。
  - ・秦瓢山（22）：作曲委嘱なども大切でないか。板倉さん以外の指揮の人選は。
  - ・福本礼美（14）：三曲編成が主体となっていて作品を広げるのは難しいか。お金のかかる事でもあるし。石川憲弘さんに指揮を依頼。色々な可能性がありと思う

### ④地方チーム 松本宏平（53）

- ・9/24三曲協会「箏・三絃・尺八による音楽会」に会員参加。
- ・大人の遠足in京都企画中。全国から参加して頂ければ。

### ④平成29年度収支予算案 原郷界山（44）

- ◇平成29年度NHK邦楽技能育成会同窓会収支予算書参照
- ・総会会場費、勤労福祉会館使用で例年の2割くらいに抑えられた。

#### 質疑・応答・提案・意見

- ・高橋明邦（特）：合奏団の予算をはずし、受験料で賄うべきでは。
  - ・三橋貴風（17）：独立採算は形が定まってからで良いかと。何人の人が参加するかわからない。投資と考えるべきではこれ以降は独立しても最初は全体会計で。
  - ・議長：繰越金が多いから予算に無理が無い。軌道に乗ってから返金するとか。
  - ・秋岸寛久（特）：繰り越しのプールは多すぎないか。
  - ・秦瓢山（22）：払ってない人がいてマイナスになるはずなのになぜ繰り越しをプラスにするのか。会費未納の人の扱いは。
  - ・原郷界山（44）：繰越金は運営上の予備。会費が減る可能性あり。5年間未納の方がいる。
  - ・議長：会報、演奏会の案内の時に催促する。
  - ・松本宏平（53）：委任状での定足数が足りなくなる可能性がある。その場合は総会が開けない。
  - ・森田柊山（19）：普通は1年未納で退会。せいぜい3年。
  - ・議長：5年未納の人は自動的に退会扱い。
- 承認され、内規に付け加えることとする。

### ⑤評議員会からの報告 設楽瞬山（38）

- ・2016/10/2、2017/5/9の2回会合を持った。
- ・評議員会と理事会、お互いの共通理解を求める。
- ・母体の人数が減っている為会員以外の卒業生へのアプローチが必要ではないか。会員がいけないという期がある。はがきの発送で名簿の管理、音信不通の人の追跡調査の必要。

#### 質疑・応答・提案・意見

- ・秦瓢山(22)：HPなどで議事録みられるか
- ・議長：どうやって会議の情報をお知らせするか検討中。議事録の取り方もルールを整えなければ。会議の動画の撮影シネットにアップするなど。

### ⑥その他

- ・中川裕美（37）：「響」について、やりたい曲が無い、自分の楽器が無いから参加しないという声がある。
- ・大田由美子（35）：卒業生が何人いて会員数は何人が把握できていますか。
- ・川俣夜山（45）：育成会は新しい曲を作る役割もあった。過去のアーカイブを発掘すると並行して委嘱して行く事も大切ではないか。編成が少ない曲など需要があるのではないか。
- ・三橋貴風（17）：来年の合奏団のコンサートでは新作は是非するつもり。評議員にこれを機に合奏団、会員への呼びかけをして頂く。

## 6 閉会の辞

閉会(16:45)

議事録全文及び別添資料については順次ホームページに掲載してまいります。  
その他総会議事に関するご質問・ご意見は理事会までメールにてお問い合わせください。  
(n.ikuseikai.dousoukai@gmail.com)

総会開催にあたって、ご出欠用返信はがきの通信欄にたくさんの方々から様々なご意見をお寄せいただきました。

そのほかにも、ホームページ等を通じて内外より多数ご意見を頂いております。その一部をここでご紹介します。

\*\*\*\*\*

- ・「響」感動しました。（在徳島の会員より）
- ・なかなか演奏会参加できませんがいつか参加したい。（在和歌山の会員より）
- ・名古屋でも会が出来ると嬉しい。講習会もやって頂ければ。
- ・メールにて大学生から、杵屋正邦先生と藤井凡大先生の曲を演奏したいがどうすればよいかという問い合わせがありました。（育成会の曲を若い方々が演奏して下さることは喜ばしく思います。）

## ■ 事業報告 - 地方での活動

地方でも同窓会会員による活動が行われました。特に関西では、在関西の会員が中心となり活発な活動が行われておりますので、その一部をご紹介します。

京都三曲協会により主催されます「箏・三絃・尺八による音楽会」内にNHK邦楽技能者育成会同窓会関西としてエントリーし、受理されました。

この音楽会は、より多くの人に邦楽に親しんでもうこと、邦楽に携わる多くの方々が参加できることを目的とし、全26団体が出演する演奏会です。

関西二府四県在住の会員が中心に、全国会員より出演者を募り、育成会同窓会会員21名により出演を予定しております。

### 「箏・三絃・尺八による音楽会」

日時：平成29年 9月 24日(日) 午前11時～午後5時（予定）

場所：京都府立文化芸術会館

主催：京都三曲協会

曲目：希の曲（藤井凡大作曲）

懇親企画として、「おとなの遠足in京都」を企画中です。  
詳細は続報をお待ちください。

## ■ 事業報告 - 評議員会の報告

平成28年10月2日、平成29年5月9日の2回、評議員会が開催され、同窓会の行事、運営についてさまざまな意見交換や議論がなされました。

その中で、以下の2点をご紹介します。

- ・評議員会と理事会において、理事と評議員は相互にオブザーバーとしてそれぞれの会議に参加可能とし、お互いの共通理解を求めるものとする。
- ・評議員は同窓会の名簿整理において、若干の住所不明者の追跡調査等に協力する。

このように、同窓会の運営に常に積極的に協力することを確認いたしました。

質疑・意見

春原香代子（17期）

Q.何十年も青山学院大学のクラブを指導している。育成会は今後、新会員が入らないので、これから講習会の発信方法（対象も）を考えて欲しい。

A.講習会をいろいろな方面に発信して、会員以外の人にもどんどん集まってもらい、会の発展につなげて行きたい。

\*合奏団チーム

三橋貴風（16期）

・自主公演を積み重ね、公演依頼がいつでも受けられる体制作りを行う。

・育成会同窓会ならではの企画の独自性が大事。

・活動費は自分たちで賄う。

・メンバーなど含めて、拙速な立ち上げは良くないが、これまでのものを次代に伝えて行くのには時間がない。

今後の中長期的展望

NHKとの提携→過去のNHK委嘱作品、育成会委嘱作品の検証等（音源が保管されていないものもある、再演しなかったため消えてしまったもの多数。現代邦楽の衰退につながっている）

質疑・意見

高橋明邦（特別会員理事）

演奏者、作曲家の他界が増えている。曲の委嘱者には初演権があるのみなので、その後は作曲者に返して、どんどん演奏されるようにつとめて欲しい。また出版して多くの人にオープンにして頂きたい。

\*地方支部チーム 石川利光（37期）※文書にて報告  
京都三曲協会主催の演奏会シリーズに於いて、育成会同窓会として1日確保。  
大人の遠足京都版が出来ないか、模索中。

質疑・意見

早川智子（39期）

Q.地方支部への助成は難しいとのことだが、総会への助成（会議の会場費など）をしてはどうか？

森田柊山（19期）

Q.地方支部の作り方は、まだ規約で決まっていない。ある程度のきまりをつくってはどうか。

A.石川理事を中心に詰めていきたい。

関連して・・・

山口賢治（39期）

会員の半分は首都圏在住。まず、日本をブロック分けしては？

森田柊山（19期）

関西と名古屋なら何とか支部が出来るかも。

松本宏平（53期）

今のところ地方支部は作られていない。

京都公演は理事会が開き、その下に実行委員会があるという形。今後地方支部作りのガイドラインを作ったほうが良い。地方支部を作ることで、支部の硬直化を招かないか心配。また、地方の総会に助成するよりもインターネットで会議するなどの方法も探りたい。

全体への質疑・意見

大田由美子（35期）

Q.全体を見渡し監視出来る人やセクションを設けたほうが良い。助成金の金額を決めたほうが良い。

A.現在各部は月1回、リーダーで月1回集まりをもって。各事項は理事会の承認を得て決定しており、幹事のチェックもある。助成金額は別紙参照。

秦瓢山（22期）

Q.本提案に伴う規約の改正はない、で良いのか？

A.規約の範囲内で体制の変更をしている。

各チーム毎に来年の予算を立てて貰い総会で承認を得るので、規約の改正は無くてもOK。講習会は会費の中でやっている。演奏会も独立採算で行い、NHKから離れることを目指している。

山戸朋盟（14期）役員の規約を改正する必要はあるかもしれないが、何か問題が起きてからでも良い。

新運営体制→拍手をもって承認

3) その他

★助成について

秦瓢山（22期）

Q.助成についての説明は規約に載せるのか？告知はどのように？

A.募集はホームページに載せる。会報に報告と来期の募集を掲載。助成金は次年度の事業項目に載せる。

試行錯誤、軌道修正などしながら良い方向に進めて行きたい。

Q.助成金を出すことの意義付けは？

A.総会で決まったから、でOKでは？

Q.予算をとって告知し、次年度から実施ではどうか？

A.「助成金を出す→会員にメリットがある」ということをなるべく早く告知し、退会者を減らすことが大きな目的なので、実施を急いだ。

釣谷真弓（27期）

Q.会報はいつ発行？

A.総会の後。

◎閉会

議事録全文及び別添資料については順次ホームページに掲載してまいります。

その他総会議事に関するご質問・ご意見は理事会までメールにてお問い合わせください。  
(n.ikuseikai.dousoukai@gmail.com)

## ■事業報告 - 助成金報告

同窓会会員よりお預かりした会費を有効に活用することを図り、会員の演奏活動及び邦楽振興活動の支援をすべく、「助成金制度」が総会にて承認され、開始されました。

助成公演・催事の広報（チラシ、WEB、プログラム等）には、「NHK邦楽技能者育成会同窓会助成公演」といった形でクレジットされます。

平成29年度分につきましては、以下の通りとなりました。

### ◆申請締め切り

平成29年2月28日

### ◆一次審査

日 時：平成 29 年 3 月 23 日 13 時～17 時

場 所：渋谷区勤労福祉会館 第 4 洋室

参加者：理事より山戸朋盟（14期）・設楽瞬山（38期）・原郷界山（44期）

松本宏平（53期）・監事より森田柊山（19期）

※上記参加者をもって、平成 29 年度助成金審査チームを組織することを相互に確認。

### ◆二次審査

一次審査結果の全理事による承認

### ◆予算額

300,000円程度

### ◆申請件数

5件（申請総額：160,000円）

### ◆審査結果

助成金交付 5件（交付総額：140,000円）

平成30年度の助成申請についてはホームページ等を通じて告知致します。

申請要綱、申請資料はホームページにて公開しておりますので、そちらをご参照下さい。

詳細について知りたい方はメールにて理事会総務までお問合せ下さい。

## ■事業計画 - 講習会と演奏会について

平成30年3月10日にNHK邦楽技能者育成会同窓会第6回演奏会「現代邦楽 響」の開催が決まりました。

今回も第一線でご活躍の先生方からご指導いただく事前講習会も予定し、その成果発表の演奏会としても位置付けております。

### 「現代邦楽 響 2018」

- ◆ 日 時 : 2018年3月10日(土) 昼公演
- ◆ 会 場 : 日本橋公会堂(日本橋劇場)
- ◆ 主 催 : NHK邦楽技能者育成会同窓会
- ◆ 企画監修 : 現代邦楽「響」実行委員会

#### ◆ プログラム

1. 「風と光と空と」 佐藤敏直作曲  
(指揮:板倉康明氏)  
(編成:箏5 十七絃2)
2. 三絃合奏曲「春の賛歌」 杵屋正邦作曲  
(★合奏講習曲/指導:杵屋子邦氏)  
(編成:三絃4)
3. 「邦楽器のためのE s s a y」 牧野由多可作曲  
(★合奏講習曲/指揮・指導:石川憲弘氏)  
(編成:尺八2 三絃1 箏2 十七絃1)
4. 「密度」 一柳慧作曲  
(指揮:板倉康明氏)  
(編成:尺八1 三絃1 箏2)
5. 「年輪」 松本雅夫作曲  
(★合奏講習曲/指導:後藤すみ子氏)  
(編成:尺八1 三絃1 箏3 十七絃1)

#### 【現代邦楽「響」演奏会実行委員会】

後藤すみ子(2期・代表) 横山裕子(29期) 山口連山(32期) 高須真穂(32期)

富緒清律(33期) 合田真貴子(34期) 設楽瞬山(38期) 原郷界山(44期) 松本宏平(53期)

福本礼美(54期・実行委員長) 井上美和(55期)

## ■事業計画 - 合奏団について

総会にて提案・承認されましたNHK邦楽技能者育成会同窓会会員より選抜されたメンバーによる「合奏団」について、現在立ち上げに向けての準備を進めております。当会役員および特別会員（外部識者）によるオーディションを行い、平成30年秋に演奏会を実施すべく進めております。

以下に現在の合奏団 構想・概要をご紹介します。また、どなたでもご参加いただけます従来の演奏会も継続して行ってまいりますので、奮ってのご参加をお待ちしております。

- ・従来の講習会・演奏会も継続して行ってまいります。
- ・合奏団は選考により選抜された人員で構成される常設のものです。
- ・東京に拠点を置きます。
- ・質の高い演奏を社会に向けて発信することを企図します。
- ・優れた現代邦楽作品の発掘や新作委嘱など、過去に育成会の果たしてきた役割と現代邦楽の歴史を再考し、さらに未来の邦楽合奏の形を模索し発表する活動を行います。
- ・そのために、具体的な演奏会に向けた練習に限らず、恒常的な合奏練習を重ねます。
- ・団費を徴収し、それにより恒常的な活動の原資とします。
- ・外部からの依頼公演や録音・放送の依頼にあたっては、団員より専ら人選し、その対価があれば可能な限り団員に還元するものとします。

来る平成29年10月3日に団員選考のオーディションを行います。詳細は本会報に同封の要綱をご参照ください。合奏団の理念や創設の経緯についても記載がございます。

常に一流の演奏家を輩出し、現代邦楽の歴史と共にあった育成会。この育成会にしかできないことがあるはずで、育成会卒業生の培ってきた力を結集し、未来の邦楽をともに作っていきたく強く願っております。

どうか奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

## ■財務資料 - 講習会収支決算書(平成29年10月10日、11月20日実施)

(単位：円)

項目	収入	支出
受講者会費 (1曲：5,000×25名，2曲：8,000×4名)	157,000	
会場費		26,000
楽器代		33,000
通信費		5,485
事務費・会議費		38,086
講師車代		50,000
同窓会会計へ入金(収益)		4429
合計	157,000	157,000

## ■財務資料 - 「現代邦楽 響」収支決算書

現代邦楽「響」 2017/3/9 (5/29現在)

予算収入 計	出演者会費	¥1,400,000
	楽器レンタル代金	¥200,000
	チケット売上	¥0
	予算計	¥1,600,000

実収入	出演者会費	¥1,230,000
	楽器レンタル代金	¥280,000
	チケット売上(股79、字7、当股6、字6)	¥287,000
	NHK収録	¥540,000
	収入計	¥2,337,000

会場費	予算	実費	差額
伝承ホール	¥300,000	¥124,600	¥0
付帯費用その他		¥52,700	¥0
リハーサル会場費	¥150,000		¥0
①12/22		¥24,400	¥0
②1/22		¥19,900	¥0
③2/11		¥26,800	¥0
④⑤3/7、8		¥78,380	¥0
その他(1/31覚リハ)		¥14,200	¥0
(2/27覚リハ)		¥3,400	¥0
合計	¥450,000	¥344,380	¥0

弁当等	予算	実費	差額
	¥100,000		¥100,000
出演者スタッフ弁当		¥65,100	¥-65,100
その他(ごみ処理費)		¥1,000	¥-1,000
合計	¥100,000	¥66,100	¥33,900

楽器店	予算	実費	差額
楽器店	¥400,000	¥400,000	¥0
レンタル楽器系締め代		¥24,000	¥-24,000
その他			¥0
合計	¥400,000	¥424,000	¥-24,000

通信費他	予算	実費	差額
	¥50,000		¥50,000
募集案内送料		¥51,660	¥-51,660
楽譜・文書送料		¥3,238	¥-3,238
チラシ送付		¥9,722	¥-9,722
招待状用切手		¥3,280	¥-3,280
ハガキ送付		¥31,148	¥-31,148
チケット送付			¥0
切手代		¥1,540	¥-1,540
郵送費		¥2,737	¥-2,737
連絡メール送付			¥0
実行委員通信費		¥43,310	¥-43,310
			¥0
			¥0
合計	¥50,000	¥146,635	¥-96,635

チラシ プログラム	予算	実費	差額
	¥50,000		¥50,000
チラシ 10,000部		¥15,200	¥-15,200
チケット 800枚		¥6,600	¥-6,600
ハガキ		¥2,930	¥-2,930
プログラム 400部		¥15,250	¥-15,250
デザイン料	¥50,000	¥55,000	¥-5,000
合計	¥100,000	¥94,980	¥5,020

その他事務費	予算	実費	差額
	¥200,000		¥200,000
印刷費		¥1,105	¥-1,105
		¥1,070	¥-1,070
		¥150	¥-150
		¥3,270	¥-3,270
封筒		¥2,175	¥-2,175
		¥960	¥-960
文具		¥1,448	¥-1,448
シール台紙		¥2,332	¥-2,332
文具費		¥3,481	¥-3,481
			¥0
合計	¥200,000	¥15,991	¥184,009

著作権料	予算	実費	差額
JASRAC	¥70,000	¥58,014	¥11,986
全音楽譜出版		¥3,240	¥-3,240
合計	¥70,000	¥61,254	¥8,746

文書作成	予算	実費	差額
	¥50,000		¥50,000
募集案内			¥0
招待状			¥0
礼状			¥0
出演者向け文書		¥131,000	¥-131,000
			¥0
			¥0
合計	¥50,000	¥131,000	¥-81,000

列1	予算	実費	差額
イス借用料		¥10,000	¥-10,000
会議費		¥50,090	¥-50,090
リハーサル運営費		¥180,000	¥-180,000
打上げ補助		¥65,100	¥-65,100
実行委員交通費		¥88,000	¥-88,000
当日楽屋菓子		¥2,780	¥-2,780
合計	¥0	¥395,970	¥-395,970

謝礼	予算	実費	差額
	¥300,000		¥300,000
指揮者		¥100,000	¥-100,000
プログラム寄稿		¥10,000	¥-10,000
楽譜提供		¥9,000	¥-9,000
当日スタッフ【7名】		¥21,000	¥-21,000
実行委員16名			¥0
			¥0
合計	¥300,000	¥140,000	¥160,000

収入合計	¥2,337,000
経費 合計	¥1,820,310
	¥516,690

■財務資料 - 平成28年度 NHK邦楽技能者育成会同窓会収支決算書

H28年度 育成会同窓会 収支決算報告書 2016/4/1～2017/3/31

2017年 5月 30日

収入の部

項目	金額	備考
会費収入	¥1,665,000	555名分/723名(29.3.31現在)
前期繰越金	¥4,191,943	
日本音楽の光彩(2016/7/9 国立劇場) 別	¥158,148	
講習会余剰金	¥4,429	
現代邦楽「響」(2017/3/9)繰越金	¥516,690	
預金利息	¥34	
合計	¥6,536,244	

支出の部

項目	金額	備考
総会会場費	¥127,440	通常69,120 臨時58,320
会議費	¥27,500	理事会・評議員会会場費・交通費
会報作成費	¥26,690	会報関係印刷費等
資料・文書作成費	¥97,000	
HP管理費	¥60,000	HP管理費、
通信費	¥121,766	郵送、メール便、葉書、切手等
発送配達費	¥13,656	宅配便
印刷費	¥18,128	
文具費	¥23,806	封筒、ラベル、インク他
コピー代	¥10,384	
交際費	¥12,592	山川直治氏香典(古屋氏立替え精算)、茶菓子
雑費	¥32,144	FAX/携帯使用料、振込手数料等
合計	¥571,106	

収入金額合計	¥6,536,244
支出金額合計	¥571,106
差し引き金額	¥5,965,138

収支決算書、預金通帳および関係書類に基づき監査した結果その内容が適正かつ経理事務が正確であることを証明します。

平成 29年 5月30日

監事 古屋 輝夫

監事 森田 終山

■財務資料 - 平成29年度 NHK邦楽技能者育成会同窓会収支予算書

平成 29年度 NHK邦楽技能者育成会同窓会収支予算書

2017年 5月 30日

収入の部

会員数 723名 ・ 3/31現在

項目	金額	備考
会費収入	2,169,000	723名
		×@3,000円
収入合計	2,169,000	昨年度実数は1,665,000 (555名)

支出の部

項目	金額	備考
事業費	総会	12,000 会場費
	会報作成費	50,000 印刷・デザイン等
	会議費	100,000 理事会、評議員会関係諸経費
	助成金	300,000 本年度より実施
	講習会	300,000
	演奏会	550,000
	合奏団	143,800
	小計	1,455,800
管理費	HP管理費	60,000 年間管理費
	印刷費	40,000 総会関係資料、会議資料等
	通信費	200,000 郵送費、切手代
	事務作業費	200,000 議事録、文書資料等作成費
	文具・消耗品費	30,000
	人件費	50,000 発送アルバイト料
	交際費	50,000 慶弔費、菓子折り等
	雑費	60,000 FAX、携帯電話、振込み手数料等
	小計	690,000
支出合計	2,145,800	
当期収支	23,200	
前期繰越	5,965,138	
合計	5,988,338	

## ■事業計画 - 懇親企画「おとなの遠足」

演奏活動だけでなく、音楽とは切り離された純粋な親睦と交流の場として実施しております懇親企画「おとなの遠足」。

第一回「杵屋静子理事長と巡る両国・浅草散策」、第二回「パワースポット“深川”・現代アートと江戸文化の街“清澄白河”散策」と行い、参加者からは「楽しかった」「また開催してほしい」「もっと色々な人に参加してもらって交流したい」とのお声をいただいております。

ご好評のお声を受けまして、第三回を今秋に企画中です。また、在関西の会員が中心となり「おとなの遠足 in 京都」も鋭意企画中です。純粋な交流行事ですのでもちろんどなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。



※過去の遠足の様子

### おとなの遠足 PART3 開催決定！

～築地から新橋へ～

「グルメと都心の名勝を堪能、お腹も心も満たす遠足」

- 平成29年11月21日（火）
- 9:00 東京メトロ日比谷線「築地駅」1番出口集合
- 散策コース：築地市場～浜離宮恩賜庭園～旧新橋停車場

※詳細とお申込みは、本会報に同封の申込書をご覧ください。

### おとなの遠足 in 京都 開催決定！

在関西の会員が中心となり鋭意企画中です。もちろん全国どちらからでもご参加いただけます。遠足の大定番、見どころ満載の京都で期を越えて交流を深めましょう。

詳細については続報をお待ちください。

ご興味のある方は石川利光（理事/37期）まで。（[ikuseikai@shaku8-ishikawa.com](mailto:ikuseikai@shaku8-ishikawa.com)）

◆大切なお知らせ◆

本年度総会におきまして、会費について過去5年間未入金の方は会員名簿から削除させていただくこととが了承されました。

該当の方で、会員としての活動にご賛同いただける方は、会費の入金を何卒よろしくお願いいたします。

育成会同窓会のための情報連絡サイト  
NHK邦楽技能者育成会同窓会の広場

<http://hougaku-ikuseikai.com/>

会員の皆様への情報発信を行っています。  
また会員相互の情報交換の場としてご活用ください。

NHK邦楽技能者育成会同窓会事務局

住所：〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-9-304 古屋方

メール：n.ikuseikai.dousoukai@gmail.com

FAX：03-6800-2012

TEL：080-3081-6227

同窓会についてのお問合せ、ご意見など何でもご連絡ください。

各ジャンルの担当につながります。

なるべくメールもしくはFAXにてお願いいたします。